

カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社メビウス

(D) データ活用	データベースソフト活用	ピボットテーブルを活用したデータ分析
-----------	-------------	--------------------

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	多角的データ分析	(1)ピボットテーブルとは <ul style="list-style-type: none"> ・ピボットテーブルの概要 ・ピボットテーブルの構成要素 (2)ピボットテーブルの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ピボットテーブルの挿入 ・ピボットテーブルを作成し集計する ・集計方法を変更する ・条件を変えてデータを抽出する (3)ピボットテーブルの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・日付を月ごとにまとめて表示する ・条件を付けてデーターを絞り込む ・ピボットテーブルのデーターを自動的に更新する ・データ分析のポイント 	2.0
	2	ピボットグラフによるデータの見える化	(1)ピボットグラフとは <ul style="list-style-type: none"> ・ピボットグラフの特徴 (2)ピボットグラフの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ピボットテーブルからピボットグラフを作成する ・ピボットグラフの大きさやデザインの変更 ・グラフの不要なデーターを非表示にする (3)ピボットグラフの種類の変更 <ul style="list-style-type: none"> ・ピボットグラフの種類を変更する ・スライサーを使って集計対象をワンタッチで絞り込む 	2.0
	3	複数テーブルの分析	(1)リレーションシップの設定 <ul style="list-style-type: none"> ・複数テーブルの役割を確認し、テーブルの関連付けをする ・リレーションシップの設定 (2)複数テーブルのデータ集計 <ul style="list-style-type: none"> ・複数テーブルからピボットテーブルを作成する 	2.0
	合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
Excelを使って大量のデータを入力・集計する際、いつも同じような作業を繰り返して時間がかかってしまっていることが課題であるということの対策として、ピボットテーブルの機能を使うことで、蓄積されたデータを目的別に効率よく集計が取れ作業時間を短縮することができます。また、データ分析のポイントとして、例えば目標や予算に対しての実績を集計するなどの学習を取り入れ、オフィスワークに活かせるような訓練内容としました。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
PC(受講人数分) OS:Windows11 アプリケーション:Microsoft Office 2021 Excel	PC(講師用) OS:Windows11 アプリケーション:Microsoft Office 2021 Excel
●使用するテキスト	●その他
プリント(メビウス製)	・必要に応じて助手を配置します。

利用事業主に用意を求める機器等	備考
ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター(又はモニタ)	使用設備:プロジェクター(HDMI端子およびUSB-Type A端子対応)、スクリーン、ホワイトボード